

我が国へのLCC（格安航空会社）の就航状況


LCC(格安航空会社)は東アジア等でも急成長しており、我が国への就航も増加してきている。

定期便 (8社、予定2社)

(2011年7月現在)

国・地域	航空会社	乗入年月日	日本就航路線	備考
日本 	ピーチ・アビエーション	12年5月予定	関西＝仁川(予定)	全日空33.44%出資 12年3月関西＝新千歳、関西＝福岡就航予定
	エアアジア・ジャパン	12年8月予定	未定	全日空67%、エアアジア33%出資
韓国 	チェジュ航空	09年3月20日	関西＝仁川(デイリー) 関西＝金浦(デイリー) 関西＝済州(週3便) 北九州＝仁川(週3便) 中部＝金浦(デイリー)	
	エアプサン	10年3月29日	福岡＝釜山(デイリー) 関西＝釜山(デイリー) 成田＝釜山(デイリー)	アジアナ航空46%出資
	ジンエアー	11年7月15日	新千歳＝仁川(週2便)	大韓航空100%出資
	イースター航空	11年5月5日	新千歳＝仁川(週2便)(7/13～8/27 週4便) 成田＝仁川(デイリー)	
シンガポール 	ジェットスター・アジア航空	10年7月5日	関西＝台北＝シンガポール(デイリー)	カンタスグループ49%出資
マレーシア 	エアアジアX	10年12月9日	羽田＝クアラルンプール(週3便)	
フィリピン 	セブ・パシフィック航空	08年11月20日	関西＝マニラ(週3便)	
オーストラリア 	ジェットスター航空	07年3月25日	成田＝ゴールドコースト(デイリー) 成田＝ケアンズ(デイリー) 関西＝ゴールドコースト(デイリー) ケアンズ－関西－ケアンズ－シドニー(週2便) シドニー－ケアンズ－関西－ケアンズ(週2便)	カンタスグループ100%出資

プログラムチャーター便 (1社)

国・地域	航空会社	乗入年月日	日本就航路線	備考
中国 	春秋航空	10年7月28日	茨城＝上海(週3便) 高松＝上海(週2便)	

地方空港における国際航空ネットワークの展開

2011年夏期当初計画の定期旅客便数。

便数は週当たりの往復便数。経由便の場合、経由地も1便としてカウント。

就航都市数には経由地も含む。

赤字は東日本大震災の影響等で、当初計画と比較して減便・運休が発生している路線

**地方空港25空港において
週485便の定期国際旅客便が就航
就航都市数: 24都市**

新千歳空港(9都市49便)

ソウル:10便 釜山:3便
香港:8便 上海:5便
北京:4便 大連:2便 瀋陽:2便
台北:14便 グアム:2便
ユジノサハリンスク:1便

旭川空港 1社

ソウル:2便

函館空港 1社

ソウル:3便

福岡空港(18都市185便)

ソウル:35便 釜山:28便 濟州:3便
北京:11便(うち大連経由7便、青島経由4便)
大連:11便(うち北京行7便) 青島:4便(北京行)
上海:21便 広州:3便 瀋陽:2便 武漢:7便(上海経由)
台北:18便(うち香港行7便) 香港:14便(うち台北経由7便)
シンガポール:5便 バンコク:7便 マニラ:5便
ホーチミン:2便 ハノイ:2便 グアム:7便

秋田空港

ソウル:3便

新潟空港(4都市19便)

ソウル:7便 上海:4便
ハルビン:4便 グアム:2便
ハバロフスク:1便
ウラジオストク:1便

青森空港 1社

ソウル:4便

仙台空港(7都市27便)

ソウル:7便 台北:4便 長春:2便
北京:5便(うち大連経由2便、上海経由3便)
大連:2便(北京行) 上海:3便(北京行) グアム:4便

広島空港(6都市45便)

ソウル:7便 上海:7便
北京:5便(大連経由)
大連:8便(うち北京行5便)
成都:7便 天津:3便
台北:6便 グアム:2便

小松空港(3都市10便)

ソウル:4便 上海:4便 台北:2便

米子空港

ソウル:3便

福島空港(2都市7便)

ソウル:5便 上海:2便

富山空港(4都市19便)

ソウル:3便 北京:7便
上海:2便 大連:7便

茨城空港

ソウル:7便

北九州空港

ソウル:3便

静岡空港(2都市18便)

ソウル:14便 上海:4便

長崎空港(2都市4便)

ソウル2便 上海:2便

高松空港

ソウル:3便

岡山空港(5都市22便)

ソウル:7便 上海:7便
北京:3便(大連経由) 大連:3便(北京行) グアム:2便

大分空港

ソウル:2便

松山空港(2都市5便)

ソウル:3便 上海:2便

那覇空港(4都市30便)

ソウル:5便 上海:2便
台北:14便 香港:9便

宮崎空港(2都市5便)

ソウル:3便 台北:2便

熊本空港

ソウル:3便

鹿児島空港(2都市7便)

ソウル:3便 上海:4便

地方空港におけるチャーター便の運航状況

宿泊施設の手配に関する要件の緩和、運航頻度に関する制限の撤廃、個札販売の上限の緩和など、航空企業の経営判断による自由なチャーター便の運航を可能とすべくチャータールールの見直しを行ってきている。

2010年度は、**49**の地方空港で合計**4,563**便の国際チャーター便を運航

